

R4年度商店街 NEXTチャレンジャー育成事業(3期生)

第2回 <今宿商工業協同組合>

日 時：令和4年8月22日(月)
16:30~19:00

会 場：(株)SALT 4階

<Program>

1. 開会
2. 今宿まち歩き
3. 今宿から学ぶ! 【今宿商工業協同組合 理事長 波多江 秀剛さん
〃 理事・(株)SALT代表 須賀 大介さん】
4. ワークショップ
5. 閉会

参加者21名

- 商店街関係者 (13名)
- 今宿商工業協同組合、1期生 (3名)
- 見学者 (1名)
- 福岡大学 飛田先生
- コーディネーター等 (3名)

Program 1 開会

- 今回は、西区今宿を訪れました!
- 市内には様々な形態の商店街があり、今宿商工業協同組合(通称:今宿商協)は、店舗が集積していない、いわゆる店舗点在型の商店街になります。そんな今宿商協は日頃どのような取組みを行っているのか?
- また、会員になって約1年で理事になった須賀さん。どのような経緯があったのか? 気になることだらけです…!!!

Program 2 今宿まち歩き

- 波多江理事長に案内してもらい、今宿商協に関係のあるスポットを巡りました!

(株)SALT→今宿商協事務所【フリースペースの見学】

→ハタエスポーツ(理事長のお店)→柴田酒店(副理事長のお店)→(株)SALT



柴田酒店の柴田さんから差し入れを頂きました! ありがとうございます!

Program 3 今宿から学ぶ!

『今宿を俯瞰して見ることのできる人が必要だ』

昨年度から理事長になった波多江理事長。

自分が理事長になったからには『毎年同じことの繰り返し』

は辞めようと思っていたとのこと。そんな時に東京からの移住者の須賀さんと出会い、一緒にやらないか、と声を掛けたんだそうです。須賀さんも地元で溶け込みたいと思っており、今宿商協の会員になり、翌年には理事に就任しました。異例のスピードでの理事就任には反対の声もあったそうですが、波多江理事長が「責任は自分が取る」と説得したとのこと。

理事長がそこまでした理由は『今宿を俯瞰して見ることのできる人が必要だ』と考えていたから。「須賀さんが海辺のビルにシェアオフィスを作る前は、そのビルが外の人にとっては魅力的な場所だとは思ってもいなかった。地元が地元の魅力を分かっていなかったことが分かった。俯瞰して見ることのできる人がいれば、自分たちに求められているものが分かる。」と話してくれました。須賀さんも「理事長をはじめとした理事の方々が柔軟な考えをもっており、意見を言いやすい雰囲気を作ってくれる」と話していました。

俯瞰的な視点と、それを受け入れる雰囲気、今宿商協は「今宿オンライン商店街」や「YouTubeチャンネル」の開設などに積極的に取り組みながら、これからも進化を続けていきます。



Program 4 ワークショップ

「外に開かれた組織づくり、チームづくりの可能性」をテーマに、グループに分かれて意見交換を行いました。組織変革を提案したり、新しいことにチャレンジをしようとしても、周囲からの反対でなかなか思うように進まないと悩んでいる方は少なくないようです。

ご自身の経験を話してくれた参加者の中には、実際に反対にあった方もいました。しかし、反対されてもそこでへそを曲げずに「商店街のために」という気持ちで活動をしていると、不思議なことに反対していた方が少しずつ受け入れてくれるようになったそうです。

理屈や理論だけで納得を得るのは難しく、**自分ができる範囲で時間をかけて継続していく**ことでこれからも何かが変わってくるような気がしていると、今後の可能性についても話してくれました。

また、福岡大学の飛田先生には、人と人とのつながりがイノベーションをもたらした今宿商協について、経営学の視点から解説していただき、参加者の理解がより深まりました!



Program 5 閉会

SALTさんの開放的な会場で、有意義な勉強会が出来ました!

次回は、博多区 銀天町商店街を訪れます。

楽しみです!

本日のポーズは
今宿の「I」です!



(写真撮影のときだけマスクを外しました)